

平成 14 年 11 月 18 日

平成 14 年 12 月期 第 3 四半期の業績等の概況

会社名, イーシステム株式会社
(コード番号: 4322 大証ナスダックジャパン市場)
本社所在地 神奈川県川崎市幸区堀川町 580 番地
問合せ先, 東京都千代田区大手町 1 丁目 8 番 1 号
責任者役職名 広報室長
氏名 大西 浩之
TEL (03) 3548-8763

1 業績

(1) 平成 14 年 12 月期第 3 四半期 (平成 14 年 1 月 1 日 ~ 平成 14 年 9 月 30 日) の業績

	平成 14 年 12 月期第 3 四半期 (9ヶ月累計)	対前年同 期増減率	平成 13 年 12 月期第 3 四半期 (9ヶ月累計)	参 考 前期 (通期)
売上高	3,303 百万円	22.5%	2,697 百万円	3,790 百万円
営業利益	670 百万円	96.2%	341 百万円	526 百万円
経常利益	598 百万円	89.6%	315 百万円	460 百万円

(注) 四半期に係る数値については、公認会計士又は監査法人の監査を受けておりません。

(2) 部門別の売上高内訳 (平成 14 年 1 月 1 日 ~ 平成 14 年 9 月 30 日)

	平成 14 年 12 月期 第 3 四半期 (9ヶ月累計)		対前年 同期増 減率	平成 13 年 12 月期 第 3 四半期 (9ヶ月累計)		参 考 前期 (通期)	
	金 額	構成比	%	金 額	構成比	金額	構成比
SI ビジネス事業	2,552 百万円	77.3%	10.8	2,303 百万円	85.4%	3,135 百万円	82.7%
ワイヤレスソリューション事業	433 百万円	13.1%	140.9	179 百万円	6.7%	373 百万円	9.9%
ライセン等ビジネス事業	317 百万円	9.6%	48.1	214 百万円	7.9%	281 百万円	7.4%
合 計	3,303 百万円	100.0%	22.5	2,697 百万円	100.0%	3,790 百万円	100.0%

(注) 四半期に係る数値については、公認会計士又は監査法人の監査を受けておりません。

(3) 主な資産・負債の変動について

項目	平成 14 年 12 月期第 3 四半期	増減額	前期末
(資産)	百万円	百万円	百万円
現金及び預金	3,043	2,083	960
売掛金	2,409	576	1,832
棚卸資産	193	110	82
(負債)			
買掛金	718	28	689
一年以内償還予定の社債	500	500	-
未払金	81	5	76
社債	1,000	1,000	-

(注) 1. 四半期に係る数値については、公認会計士又は監査法人の監査を受けておりません。

2. 平成 14 年 3 月 27 日に(株)三井住友銀行を引受人とした 1,500 百万円の無担保社債を発行しました。この結果、資産の部では現金及び預金が増加した一方で、流動負債として 1 年以内償還予定の社債を 500 百万円、固定負債として社債を 1,000 百万円、計上しております。

2 業績の概況

当第 3 四半期におけるわが国経済は、個人消費の低迷を背景にしたデフレが進行しており、企業業績の厳しさを反映して、企業の情報化投資も頭打ちとなっています。その中で、CRM(顧客情報管理システム)市場について見ると、日本における CRM の認知度が徐々に向上し、企業の関心が高まっていることを背景にして比較的堅調に推移しているものと見られます。

このような環境下で、当社はハードウェア及びソフトウェアの売上高が大きく減少したものの、収益の柱である CRM コンサルティングでは既存顧客からの継続的受注に加え、金融業から製造業、サービス業への事業展開の業種拡大・新規顧客獲得が順調に進みました。加えて、ワイヤレスソリューション事業も好調な拡大を達成した結果、当四半期の売上高は前年同期比 1.5% 増の 1,132 百万円となりました。各事業別の業績は次のとおりです。

SI ビジネス事業 (CRM 事業)

SI ビジネス事業では、収益の柱であるコンサルティング売上高は前年同期比 53.1% 増の 622 百万円と好調に拡大いたしました。一方で、ハードウェア及びソフトウェア売上高は企業の設備投資抑制の影響を受け、前年同期比 55.7% 減の 242 百万円と減少いたしました。この結果、SI ビジネス事業の売上高は前年同期比 9.3% 減の 865 百万円となりました。

ワイヤレスソリューション事業

ワイヤレスソリューション事業では、積極的なモバイル CRM 提案が功を奏し、新規案件の獲得が進行したことに加えて、案件規模の拡大が進行しました。この結果、ワイヤレスソリューション事業の売上高は、前年同期比 57.6% 増の 141 百万円となりました。

ライセンス等ビジネスサービス事業

ライセンス等ビジネスサービス事業は今年度から米国グプタテクノロジー社の日本における唯一の販売代理店となったことをうけ、顧客ケアの強化、提案活動の積極化を進めました。この結果、ライセンス等ビジネスサービス事業の売上高は前年同期比 73.9% 増の 125 百万円となりました。

(売上原価)

当四半期における売上原価は、640 百万円となりました。その内訳の主なものは、ソフトウェアライセンス料等が 66 百万円、労務費 132 百万円、外注費 135 百万円であります。この結果、売上高原価率は 56.5% となりました。

(販売費及び一般管理費)

当四半期における販売費及び一般管理費は、255 百万円となり、売上高に対する割合は 22.6% であります。販売費及び一般管理費の主なものは、人件費で 128 百万円であり、売上高に対する割合は 11.3% であります。

(営業利益)

以上の結果、当社の収益の柱である CRM コンサルティングの売上高が好調に拡大したことを背景にして、当四半期における営業利益は前年同期比 59.1% の 236 百万円 (営業利益率 20.9%) となりました。

(営業外損益)

営業外収益が 1 百万円、営業外費用が 18 百万円となりました。特記すべき事項はありません。

3 当期の見通しについて

平成 14 年 8 月 26 日に発表しております、平成 14 年 12 月期 (平成 14 年 1 月 1 日から平成 14 年 12 月 31 日まで) における当社の業績見通しは次のとおりであり、本見通しは現在の段階では変更ございません。

平成 14 年 12 月期の業績予想 (平成 14 年 1 月 1 日 ~ 平成 14 年 12 月 31 日) (単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
通期	5,050	790	450	3,868 円 42 銭

(注) 当社は平成 14 年 8 月 20 日をもって株式 1 株を 3 株に分割しております。平成 14 年 12 月期の 1 株当たり予想当期純利益は、上記株式分割が期首に行われたものとして計算しております。

4 その他

(1) 株式分割について

平成 14 年 5 月 8 日開催の当社取締役会において、以下のとおり株式分割の決議をし、新株の発行を完了しました。

分割方法

平成 14 年 6 月 30 日現在の株主名簿及び実質株主名簿に記載された株主の所有株式 1 株につき、3 株の割合をもって分割する。

分割により増加する株式の種類及び株式数

普通株式 79,688 株

株式分割日 平成 14 年 8 月 20 日

配当起算日 平成 14 年 7 月 1 日